

小・中学校統合計画の転換について（お知らせ）

平成 18 年度から 19 年度にかけて、計 7 回の小・中学校統合検討委員会の開催を経て、平成 20 年 3 月 11 日、検討委員会より小・中学校統合計画にかかる答申を受けました。今後、その答申の内容を踏まえ、下記のとおり統合推進を図って参りますので何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

平成 20 年 5 月 22 日

河内町長 野高貴雄
河内町教育長 石山 暁

記

中学校の統合について

■ 答申の基本的事項

統合校の位置	河内中学校
統合の時期	平成 21 年 4 月は転換先送りとし、今後の生徒数の推移を踏まえ早急な時期とする。
統合の方法	河内中学校、金江津中学校両校を閉校し、統合新設校とする。

■ 今後の方針

これまで、平成 21 年 4 月河内中学校を利用しての統合で、保護者・町民各位へ説明会等行って参りましたが、現在、この計画（案）に対してご理解が得られていない状況です。

しかし、特に中学校における適正規模の生徒数確保は教育上重要課題であり、学校統合は必要であると委員の意見は一致しているところです。現状を踏まえ、より良い統合をするため、統合の時期については再度目標を定めることとなりますが、今後の生徒数の推移を見据え早期実現を目指して行きます。

統合校の位置としては、町中央とすることが理想ではありますが、航空機の騒音区域であることなど環境的な問題や早期実現を目指すための財政負担等考えると現段階においては、河内中学校を利用せざるを得ないと思われれます。また、遠距離通学の対策として、スクールバスの運行も必要条件であると考えております。引き続き、保護者・地域住民の方々のご理解ご協力を得られるよう話し合いを進めていきます。

小学校の統合について

■ 答申の基本的事項

統合校の位置	源清田小学校
統合の時期	平成 21 年 4 月は転換先送りとし、今後の児童数の推移を踏まえ早急な時期とする。
統合の方法	源清田小学校・長竿小学校両校を閉校し、統合新設校とする。

■ 今後の方針

これまで、10 年、15 年先を考え、平成 21 年 4 月生板小学校を利用しての生板・源清田・長竿各小学校の 3 校統合の推進方針で説明会等を行って参りましたが、各地区住民、保護者説明会において源清田・長竿小学校 2 校統合のご意見、ご要望が総体的に多く聞かれました。

つきましては、答申の内容に沿って今後は、この 2 校統合を推進目標とし、今後の児童数の推移等を踏まえ、早い段階で統合時期を定め町民各位のご理解ご協力を得られるような統合推進を図って参ります。

今後、小・中学校統合検討委員会の答申及び茨城県教育委員会が策定した「公立小・中学校の適正規模について」の指針に基づき、児童生徒の教育環境の充実を図るため、学校の適正規模に向けた取組を進めて参りますので、皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。